

TOPIC
1

(仮称) 青葉台駅周辺地区まちづくり構想の策定に着手しました



▲連携協定における対象地域



新たな魅力を創出するまちづくりの実現に向けた協定締結

横浜市北西部における交通結節機能の高い拠点である東急田園都市線青葉台駅周辺について、新たな魅力を創出するまちづくりの実現に取り組むため、横浜市、東急株式会社、独立行政法人都市再生機構は、令和7年1月24日に協定を締結しました。

青葉台駅周辺地区の現状と課題

東急田園都市線青葉台駅周辺は、昭和42年の土地区画整理事業をきっかけに、道路や駅前広場などの都市基盤施設が整備され、大規模な商業施設も集積する横浜市北西部の拠点です。

しかしながら、土地区画整理事業と同時期に建設された青葉台プラザビルは、築55年を超え、建物の高経年化（老朽化）や防災・バリアフリーへの対応の遅れ、周辺道路の渋滞、バスターミナルなどの歩行者の滞留空間の不足といった地域課題が生じています。

また、頻発化する自然災害や人口減少の進展、脱炭素化の推進などの社会課題にも対応した、持続可能なまちづくりの必要性も高まっています。



(仮称) 青葉台駅周辺地区まちづくり構想の策定に着手

そこで、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に向けて、青葉台プラザビルなどの対象地域の再整備に向け、周辺区域も含めた、地域の課題や将来像をまとめる「(仮称) 青葉台駅周辺地区まちづくり構想（以下、まちづくり構想）」の策定に着手しました。

多様な意見収集のための取組を進めています

多様な視点からご意見をいただくため、懇談会をはじめ、地域の皆様や駅利用者等へのヒアリングやアンケート調査等を実施する予定です。



まちづくり構想策定に向けた第一歩として 懇談会を開催しました

令和7年10月14日及び令和8年2月17日に、地区の課題や目指すべき将来像について意見交換することを目的として、地域の皆様や学識経験者等が構成する懇談会を開催しました。10月には駅周辺の魅力や課題をテーマに様々なご意見をいただきました。これを基に案を作成し、2月にはアンケートやグループインタビュー等の内容について検討いただきました。

第1回でよせられた 駅周辺の魅力

- 田奈の田圃の空間は素晴らしく、丹沢の山並みや空がよく見える
- 平穏な生活を送れている
- バスロータリーには、空を見上げられる開けた空間がある
- 駐輪場が整備された



第1回でよせられた 駅周辺の課題

- バスの台数が多く混雑している
- 雨の時は送迎車が一斉に集まり混雑する
- 駅東側団地との高低差が大きく、移動が大変
- 青葉台駅周辺にゆとりがなく、駅前が混雑しすぎている
- 駅前にみどりやオープンスペースが少ない



青葉台駅周辺エリアのまちづくりに関する 市民アンケートにご協力お願いいたします

青葉台駅周辺をご利用の皆様へ、青葉台の魅力や課題、将来どうなったらよいかなど率直なご意見を伺うため、アンケート調査を行います。皆様のご回答を踏まえ、「(仮称)青葉台駅周辺地区まちづくり構想」の策定を行いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケート実施概要

実施目的	青葉台駅周辺エリアに関する市民意見、ニーズの把握
主な対象	青葉台駅周辺エリア近隣住民、青葉台駅利用者など
募集期間	令和8年3月23日(月)～5月10日(日)
回答方法	オンラインの回答フォーム



こちらから簡単にご回答いただけます！



発行者

- ・横浜市都市整備局市街地整備部市街地整備推進課
- ・東急株式会社プロジェクト開発事業部開発第二グループ 田園都市担当
- ・独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 ストック再生企画部計画第2課

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

美しい時代へ — 東急グループ



—— 社会課題を、超えていく。——

